

主な研究

地域貢献型特別研究（ACTR）の主な研究

A1

地域コミュニティの紐帯となる地域文化財についての基礎研究とその活用へ向けたヒアリング

「地域文化財を活用した山間地区コミュニティの維持方策の研究」

「火」にまつわる祭礼が残っている京都市北部山間地において、伝統行事を含む地域文化財の調査を通じ、これらを活用することによる地域コミュニティの活性化の可能性を示唆。

久多の花笠踊の調査



鞍馬の火祭の調査



A3

府内屈指の大規模須恵器窯跡群である福知山市夜久野末窯跡群の詳細な調査とその活用方策の検討

「夜久野末窯跡群を中心とした地域の文化遺産の調査と活用」

100基を越す窯数をもつ屈指の古代須恵器窯跡であると想定されていたが、その重要性が十分には認識されてこなかった夜久野末窯跡群について詳細な現地調査を行い、そのデータを基に窯がつなぐ地域の歴史を復元。

夜久野末窯跡群の遠景

学生たちとともに行った調査風景



夜久野末窯跡群の分布(GPSによる調査地点の表示)2020年2月実施

A7

在住外国人に対する災害時の支援体制構築に向けた災害時対応施策具体化への検討

「京都府内の基礎自治体における災害時外国人支援体制の構築のための調査研究」

府内自治体アンケート調査や訓練への参加、先行事例ヒアリングを通じて、地方自治体における災害時対応施策の具体化に向けた基盤を提言。



災害時避難所運営ワークショップの様子



災害多言語支援センター設置・運営訓練の様子

A17

視覚障害者の方にも植物園を“感じて”もらう触地図の作成

「3D+1.5D情報印刷を応用する視覚障害者のための感じる府立植物園の実現」

京都市植物園の園路、展示、木々、ガーデン等を立体印刷で3D表示し、この地図に音声を含め込むことにより(1.5D)、視覚障害者の方への確かな情報を与えることができる触地図案の作成。



初期の植物園触地図



音声データの地図への賦与



2019年度版の試作触地図

A21

京野菜や京都在来果樹の食品機能性の評価と栽培技術の確立

「京都特産農産物の産業振興に向けた成分の優位性に関する分析」

京野菜や京都在来果樹の生産拡大につながる食品機能性の実証や栽培マニュアルの確立を目的として、京都府城陽市の特産梅である「城州白」の抗がん活性の解析やせん定講習会を実施。



ウメのせん定講習会の様子

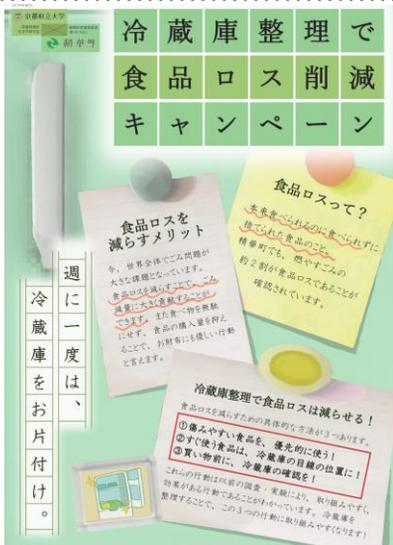
城州白 (未熟)	城州白 (完熟)	城州白 (6日間追熟)
活性なし	活性あり 2 mg/mL: 9 (7, 8, 8, 11)	活性あり 2 mg/mL: 11 (8, 10, 12, 13)

「城州白」の完熟果に抗がん活性を確認

A22

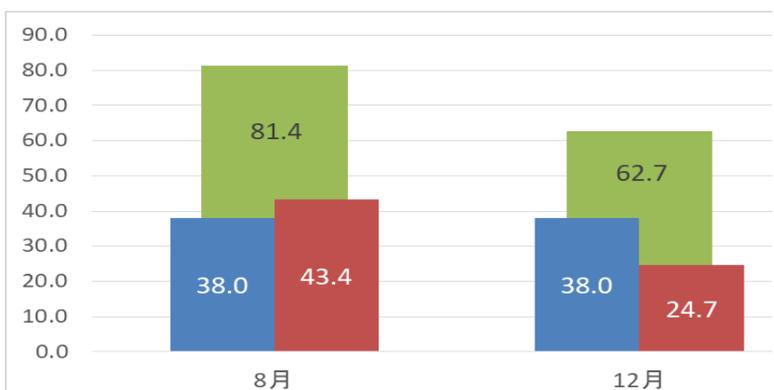
食品ロス削減キャンペーンの実施とごみ調査・意識調査を用いた効果分析

「食品ロス削減に向けた社会実験研究-精華町の実態を踏まえた効果的な施策に向けて」



食品ロスについてのチラシ

世界全体で大きな問題となっている食品ロスの削減に向け、精華町と共同で啓発キャンペーンを設計・実施。食品ロス量と意識・行動の変化を分析し、削減効果を確認した。またその結果を踏まえて食品ロス削減に向けた施策提案を行った。



地元1人1日当たりの食品ロス排出量の変化